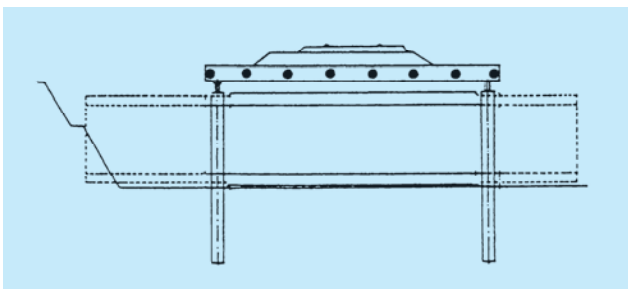
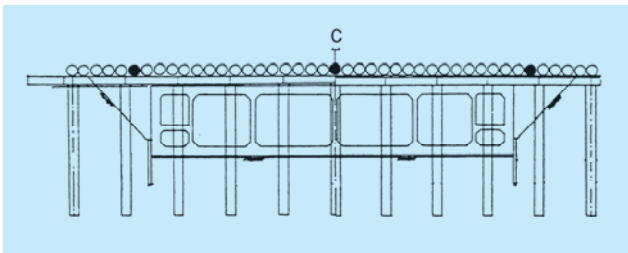
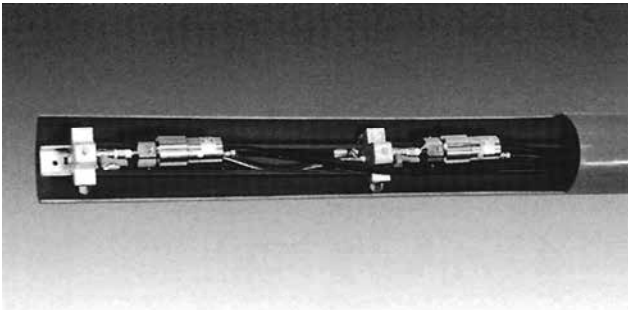


# 圧力式沈下計

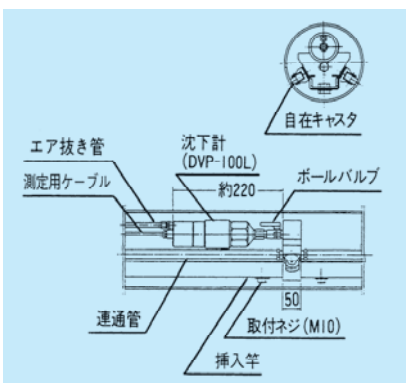
## DVP-100

パイプルーフのたわみ管理  
トンネルの先行沈下測定

型式の□はAまたはBを挿入



●は沈下計埋設位置を示します。



基準装置（水槽P.34）と本沈下計とを連通管で連結し、常に一定の水圧をかけておきます。もし、沈下計の設置箇所に鉛直変位（沈下または隆起）が生ずると、その変位量に比例して水圧が変化し、内蔵された直流式差動トランスにて電気変換され沈下または隆起が検出されます。圧力式ですから、検出器を横に倒しても測定上問題ないことを利用し、水平ボーリング孔に専用の取付金具を介して埋設してトンネル切羽前方の沈下測定やパイプルーフの鋼管内に埋設して、たわみ測定に用います。

型式	DVP-100A	DVP-100B
測定範囲	±50mm	
定格出力(RO)	±50mm	
直線性	±1.0%RO以内	
ヒステリシス	±1.0%RO以内	
設置水頭差	160mm	500~3,000mm (この間可変)
許容過負荷	5m	
許容温度範囲	0~+40℃	
定格使用電流	50mA	
絶縁抵抗	DC25Vにて500MΩ以上	
連通管	水管	φ12/18mmスプリングブレードホース
	エア管	φ5.90/7.94mmナイロンチューブ
挿入竿(IP-□)	1、2、3、4、5、6 (m)	
寸法	φ58×H140mm	φ58×H120mm
質量	約1.5kg	約2.0kg
ケーブル	S4-5 (0.5mm <sup>2</sup> 4心、シングルシース)	
ケーブル標準長	1m	

■本体の固定金具は (VFF-□) は、測定管寸法 (φ) に応じて、100mm、150mm、200mm用があります。

■極性は、一が沈下を示します。